

MT を活用した効率的なウェブ制作

2013.9.9



株式会社 グラビティ・ワークス

代表取締役 浅賀貴弘

当社紹介



株式会社グラビティ・ワークス

2006年設立。インターネット周りを中心とする制作会社。

<http://www.gravity-works.jp/>

業務内容

- ・ウェブ制作
- ・スマートフォン向けサイト制作
- ・サイト管理、運営
- ・システム構築

※企業系、ポータル系サイト制作が多い

ブログ

「グラビカ学習帳」・・・備忘録と知識の共有と蓄積
「四谷 NOW」・・・四谷のWEB制作会社の周辺事情



システム構築

- ・ ASP データベースとの連携
- ・ 『Movable Type』を CMS として利用

社員数

合計 6 名

設計ディレクター 2 名

構築エンジニア 2 名

(延べ人数)

※いわゆるプログラマーは不在

CMS として利用する際の MT の特徴

- ・ プログラマでなくとも比較的カスタマイズしやすい
- ・ 静的な html を生成
- ・ 多様なプラグイン

※その他に SixApart さんがディストリビューター
有償ライセンスだけれども、サポートやケア、アップデートで安心

『MT を利用した効率的なウェブ制作』

MT を制作ツールとして内部運用

MT を CMS 利用する通常の場合

MT を **本番サーバー** にインストール
↓
カスタマイズ
↓
管理画面からデータを登録
↓
ウェブサイトを運営

制作環境として MT を利用する場合

MT を **制作環境サーバー** にインストール
↓
カスタマイズ
↓
FTP やプラグインを利用して **データを一括でアップロード** (インポート) して登録
↓
静的な HTML を生成
↓
できた HTML と関連ファイルを制作環境サーバーから **ダウンロード**
↓
お客様の **本番サーバー** に **アップロード**
↓
ウェブサイトを公開

どうしてこんなことをするか？

→CMS で構築したら良さそうなコンテンツ（ウェブサイト）

- ・表示形式がある程度フォーマット化（テンプレート化）可能そう
- ・ページ数がまとまっている
- ・マルチプラットフォームが考えられている（PC、スマホ、タブレット）

なのに……

→MT がインストールできない事情がある

- ・お客様のサーバーに MT がインストールできない
（当社はプログラマ不在、MT 以外のカスタマイズが苦手。）
- ・CMS を利用するほどでもない
（初回で制作したら、運用上あまり更新しない。）
- ・予算がない
（お見積もりで MT カスタマイズ費を計上すると、ページ数とカスタマイズ費とのバランスで割高になってしまう。）

CMSで構築したら良さそうなコンテンツだけど、 MTがインストールできない事情があるため……

- ・ コツコツ html を制作したり
- ・ ある程度まとまったページ数の制作が必要だったり
- ・ プラットフォーム別に同じデータを流し込まなくてはならなかったり

MTを知っているのに今さらできない……

↓ だったら

MTを内部的な制作ツールとして利用して効率的に制作

実際に行った事例

J-WAVE 『AUTUMN AGENDA 2012』

<http://www.j-wave.co.jp/autumn/>



※スマートフォンサイト有り

代表的な注意点と工夫すべきポイント

MT を制作環境のサーバーにインストール



★★★ **カスタマイズ** ★★★



★★★ **FTP やプラグインを利用してデータを一括でアップロード、登録** ★★★



静的な HTML を生成



できた HTML と関連ファイルを制作環境サーバーからダウンロード



お客様の本番サーバーにアップロード



ウェブサイトを公開

カスタマイズ

画像や CSS、js などの連動が課題

画像や CSS などのパスは別ドメインにアップできるように相対（ルート）パスで。

『制作サーバー』と『本番サーバー』とでドメインや階層構造が違うため、
http:// から始まる絶対パス <\$mt:BlogURL\$> や <\$mt:EntryPermalink\$> が使えない。

↓

サイト URL をサーバーのルートパスで出力

<\$mt:BlogRelativeURL\$> などを利用

/blogurl/

『グラフィカ学習帳』

※ブログやカテゴリー、記事のパスを相対で出力する方法

<http://www.gravity-works.jp/gravica/web/mt/003818.html>

カスタマイズ (つづき)

使用する画像名の命名ルール

ページ内で使用する画像名は MT で生成される記事のベースネームを利用してあらかじめ制作し、FTP で一括アップ。

(もしくはカスタムフィールドにファイル名を入力する形に。)

例)

画像パスを下記のように書くことができる。

```
img/<$mt:EntryBasename$>.jpg
```

※ただし、記事で使用した画像を ImageMagick (イメージマジック) で加工する場合や、画像が記事と連動する場合は、MT を通したファイルのアップと記事への手動のひも付けが必要になる。

FTP やプラグインを利用してデータを一括で アップロード、登録

一番大変な記事登録は、CSV を使って登録（インポート）できる。

データベースにおける MT のデータ形式は独特で、CSV 形式では素直に登録一括（インポート）できない

CSV ファイルを作成



『**CSV ループコンバータ**』

MT 形式のテキストファイルに変換できるようにカスタマイズし、MT 形式に変換
<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/net/se130272.html>



MT のインポート機能で登録

FTP やプラグインを利用してデータを一括で アップロード、登録 (つづき)

他のプラグイン等

『グラフィカ学習帳』

<http://www.gravity-works.jp/gravica/web/mt/001979.html>

エントリを CSV に書出したり、CSV から一括登録する MovableType プラグイン :EntryImExporter

<http://www.skyarc.co.jp/engineerblog/entry/entryimexporter.html>

Movable Type の記事データを CSV 形式でエクスポート・インポートできる

「CSVDataImExporter プラグイン」

<http://www.koikikukan.com/archives/2012/11/02-005555.php>

ブログ記事の CSV エクスポート・インポートプラグイン

<http://asp.hash38.com/?p=1326>

CMS として利用する際の MT の特徴

- ・ プログラマでなくても比較的カスタマイズしやすい
- ・ 静的な html を生成
- ・ 多様なプラグイン

**CMS を運営メリットだけではなく、
制作メリットとして捉えて、
効率的に制作をする、という
事例と提案**

※レスポンシブデザイン以外でプラットフォームごとにページが必要な場合、各プラットフォームごとにテンプレートを分けて制作すれば登録したワンソースで対応できるのもメリット。

本日はご清聴ありがとうございました。

グラビティ・ワークス 浅賀